



八峰町6月議会定例会

町長の行政報告をお知らせします

八峰町6月議会定例会が16日から18日までの会期で開かれ、町長の行政報告や一般質問、補正予算の議案審議などが行われました。町長の行政報告の中から主なものをお知らせします。

5月16日からの大雨被害 避難所を開設

始めに5月16日夜から17日夕方にかけての大雨について報告します。16日午後から発達中の低気圧等の影響で断続的に激しい雨が降り、17日午前0時34分に「大雨警報」、午前4時32分に「大雨洪水警報」が発令され、秋田県から水沢ダムの貯水量が増え、ダム上部から越水する可能性が高くなっているとの緊急連絡があり、午前6時に「災害対策連絡部」を設置し、警戒にあたりました。

午前6時34分に水沢川が増水し、午前9時頃に水沢ダムからの越水放流も行われることを受け、午前7時40分に「大久保岱コミュニティセンター」、「水沢コミュニティセンター」、「水沢上町町内会館」の3箇所避難所を開設しました。

その後、災害が発生する危険が高まったことから、午前8時45分に手塚坂地区2世帯5人、ウトウ坂下地区8世帯11人の合わせて10世帯16人に避難指示を発令し、住民を避難させました。各避難所には、町の職員1名を配置し、新型コロナウイルス感染防止のため、手指消毒やマスクの着用などの協力を呼びかけました。

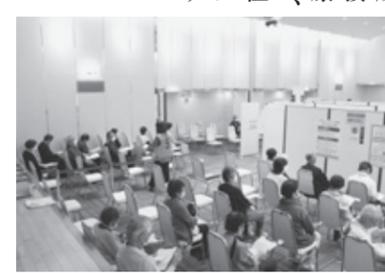
午後6時までに大久保岱コミュニティセンターに4人、水沢上町町内会館に4人が、水沢コミュニティセンターに車で1人が避難されました。その後、午後7時に水沢ダムからの放流がなくなり、水沢川の水位も下がったことから、午後7時をもって避難指示を解除、避難所を閉鎖し、災害対策連絡部を廃止しました。

今回の大雨は、降り始めからの24時間降水量が159ミリと5月の観測史上最大を記録しました。この大雨により、河川から海へ大量のゴミや流木等が流れ、八峰町の海岸に漂着し、岩館漁港の内部にも大量のゴミが入りました。すぐに撤去しないと漁に悪影響を及ぼすため、秋田県漁業協同組合岩館支所と山本地域振興局と協力しながら対応いたしました。これから、梅雨の時期を迎え、河川の氾濫や土砂災害などの危険が高くなりますので、より一層防災態勢の強化に努めてまいります。

新型コロナウイルス ワクチン接種状況

町における高齢者へのワクチン接種については、「個別接種」と「集団接種」の併用で行うこととし、個別接種については、能代市山本郡の30医療機関で体制が整備され、町内では町営診療所でワクチン接種を行っています。集団接種については、峰栄館を会場として、毎週土曜日、午後には、2チーム体制で、1日当たり150人、最大300人の接種を行っています。

受付や問診票のチェック、ワクチン接種を受けられる方々の誘導や接種後の経過観察など、ワクチン接種をサポートする業務については、長期間にわたることから、福祉保健課職員だけでなく全庁体制で対応するとともに役場職員を退職した保健師や「秋田しらかみ看護学院」の看護学生や「山本地域振興局」の職員派遣の協力もいただきながら行っています。さらに、接種会場までの乗り合いタクシーでの無料送



迎、大型バスの待合室としての代用および当日のキャンセルへの対応など、様々な工夫をしながらワクチン接種に努めているところです。

5月末現在における接種実施および予約状況については、集団接種の予約済み者が1,410人、うち1回目接種済み者が450人、個別接種の町営診療所分が783人、1回目接種済み者が210人、特養施設入所者の2回目接種済み者が144人、その他の高齢者施設で1回目接種済み者が150人となっています。合わせますと2,487人となり、町営診療所以外のかかりつけ医での接種も順調に推移していることから、八峰町全体における高齢者全体3,171人の9割程度が7月中旬に接種できる見込であり、希望する方々へのワクチン接種は7月末まで完了できると思っております。また、16歳から64歳までの方々への接種については、慢性的呼吸器・心臓病等の基礎疾患のある方、介護施設等従事者の予約を優先的に受け付けるとともに、大部分の方が事業所等に就労していますので、各事業所に従業員の接種休暇的な対応をお願いすることや町外からの町内事業所就業者への接種を町営診療所で行うなど、効果的な接種事業の推進に努めてまいります。

6月議会定例会に 提出した主な議案

専決処分事項の報告について
5月17日に発生した豪雨災害に関する災害復旧費の追加補正

八峰町国民健康保険条例制定

令和3年度八峰町一般会計補正予算
2億9,122万5千円を増額
追加した主な歳出
人事異動に伴う人件費、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金など

令和3年度各特別会計補正予算
八峰町診療所
77万5千円を増額

令和3年度各事業会計補正予算
八峰町簡易水道事業
350万を増額
八峰町下水道事業
168万3千円を増額

町内巡回バスの試行運転について

昨年度は6つのルートで試行運転を行いました。今年度は、昨年度の試行運転や利用者アンケートの結果を踏まえ一部ルートを見直し、6月1日から5つのルートで試行運転をスタートしており、9月30日まで運行いたします。その後につきましても、利用者アンケートを実施するとともに、「八峰町公共交通会議」で協議し、既存の「岩館線」と「大久保岱線」のルート変更も視野に入れた新たなルートを検討するとともに、10月1日からのスタートについても検討してまいりたいと考えています。引き続き、住民の皆様がより利用しやすい公共交通システム構築に取り組みでまいります。



令和2年度黒字決算報告 ハタハタの里観光事業株式会社

八森いざりび温泉ハタハタ館は、平成6年のオープン以来、平成19年のリニューアルを経て、28年目を迎え、八峰町の観光、保養の拠点施設として地域振興に大きな役割を果たしてまいりました。

令和2年度の経営は、3期連続の大きな赤字決算に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊や宴会のキャンセル、大型観光バスの立ち寄り件数の激減など、大変厳しいスタートでしたが、新型コロナウイルスへの感染防止対策を徹底しながら、様々な特別宿泊プランの企画・実践や、昨年3月に策定した「経営改善計画」を基本に、「販売費及び一般管理費」の削減に努めるとともに、国、県、町等の支援策をフルに活用した結果、四期ぶりに244万円の黒字となりました。

全体の売上高は、1億2,700万円と前年比5,668万7千円の減収となり、部門別では、宿泊部門が国のGoToトラベル、県のプレミアム宿泊券、町の宿泊助成などにより増収となったものの、宴会仕出し部門やレストラン部門、売店部門において、会食の自粛や臨時休業、観光バスの立ち寄り件数の激減により、売り上げが大きく減少しました。また入浴者数は、町のクーポン配布による効果も見られましたが、前期比2万1,157人減の7万4,595人となりました。今回の黒字は、国の持続化給付金や

雇用調整助成金、秋田県のプレミアム宿泊券や雇用維持支援金、町の宿泊助成や事業継続臨時給付金など、新型コロナウイルスに関連した経営の財源となる支援策を積極的に活用できたからであり、慢性的な赤字体質から脱却できたというのではないので、依然として安心できる状況ではないと認識する必要があります。

令和3年度に向けては、新型コロナウイルス感染症が止めてしまった「ピトの流れ」が、現在始まっているワクチン接種により元に戻ることを期待しながら、国や県、町の支援策を取り入れた特別宿泊プランやイベントなどの企画を促し、「売り上げを伸ばす」努力の実践および経営改善計画の着実な実行によるさらなる経費削減を求めてまいります。町としてもハタハタ館の存続に向け、国や県の支援制度と連携しながら全力で支援してまいりたいと考えています。

また、現在「お殿水」の「道の駅はちもり」を御所の台エリアに移転する計画を検討しており、今年度は様々な関係者からご意見を伺う懇談会を開催いたします。懇談会では、観光客やバス事業者を始め、御所の台エリアに関係する皆さんにメリットを及ぼすような、町全体の観光や商工業の振興につながるような検討をしてまいりたいと考えています。